



愛をもって人生にエールをおくる

IGLグループ

# たよりIGL

# 143号

2024年5月5日発行

エールを送るコミュニティマガジン



IGLの夢、それは  
すべての人が生ある喜びを  
わかちあえる理想郷づくり。

巻頭特集  
IGLの理念・組織  
そして教職員像  
2024年度入職式

IGLで働くひとインタビュー  
サムエル園長リレーコラム  
かんたんセルフケア  
IGLの緊急時に備えた取り組み

教えてドクター！  
教会から「愛の手紙」  
施設だより  
LOVE注入レシピ

Love has just begun.  
It will be stronger and never die ...

はじめに愛があった。

IGLの理念・組織 そして教職員像

## IGLの理念・組織に基づいての 期待する職員像

職員の皆様には、お一人おひとり全員にリーダーになってもらいたいと思っています。IGLの職員として誰一人として欠けては困るということです。百人の内九十九人が一生懸命頑張っても、たった一人の心無い行動によって百人が悪者にされてしまうのです。一人ひとりがIGLの代表であるということを常に頭に入れておくべきだと思います。

『三人寄れば文殊の知恵』という言葉があります。三人十人となり、それぞれが知恵を出し合えば、何かが出来上がります。“自分が自分が…”と自己主張ばかりしていると、組織が崩れていきます。皆が同じ方向を向く、同じ目標を持つということが必要です。つまり、皆が一致団結して努力・助け合いを行うということです。

職員研修の中で、毎回私は申し上げているのですが、職員・リーダーにとって一番大切なことは“理念”“哲学”“思想”を学び理解することです。

理事長 永見 憲吾

### IGL理念=隣人愛

宗教を超え、思想を超えて“愛”とは人間が求める最高の善であると思っています。どの宗教でも“愛”は皆が求めるものなのです。『自分を愛するようにあなたの隣人を愛しなさい』これは逆に言うと『自分がしてもらいたくないことは、相手にもするべきではない』を意味しています。

### 組織・会議の重要さ コミュニケーションの大切さ

各セクションのリーダーが集まり情報交換、共通理解をする為には、会議が必要です。会議に費やす時間もつたいないと思われがちですが、同じ目標を持つ、同じ方向性を向くためには必要不可欠なのです。立派なマニュアルがあっても、方向性がある程度まとまっても、情報交換・共通理解をする場を設けることは大切なことです。正反対の意見を持ったお互いが、バトルとなった時、意見を一致させる為にはコミュニケーションが必要です。同じ組織に所属しているのであれば、同じ方向性に向く必要があります。その手段はやはり会議なのではないでしょうか。



愛の中で優しさが育ち  
遊びの中で生きる力が育まれる

笑顔・挨拶・温かい言葉かけ  
清潔感ある身だしなみ

お客様のニーズを把握し、  
顧客満足に努める

教職員間・学生・保護者との  
意思疎通、信頼関係の確立

愛されていること、  
愛することの喜びが実感できる保育

チームで成長  
迅速な報告・連絡・相談

保護者・教職員の心が  
ひとつになれる  
アットホームな雰囲気作り

学生のもつ夢や悩みなどに  
共感し理解する

### サービス業としての教育福祉

医療界では、患者さん=ペーシエントから、患者さんをクライアント(お客さま)と呼び方を改めたように、教育福祉もサービス業としての教育福祉に変わるべきではないだろうかと考えておりました。サービス業といえば、子供やお年寄りを商品化しているように思いますが、ここでのサービスとは“奉仕する”という意味です。私たち教育福祉が目指すサービスとは一流のホテルで働く社員の姿勢ではないかと思えます。居心地の良い雰囲気を作り出す、行き届いたもてなし(ホスピタリティ)で接することを見習うべきです。

### 報告・連絡・相談(ほうれんそう)は 仕事上手のかくし味

毎日様々なことが各施設で起こります(子供が怪我をした等)。しかし、施設長・園長クラスが何が起こったのか把握しておかないと社会的責任が持てません。その為には、報告・連絡・相談(ほうれんそう)が大変重要です。

## 2024年度入職式

2024年4月1日、入職式が執り行われました。  
IGL学園福祉会には中国からの留学生を含む4名の新卒の皆さんが入職しました。

各自へ辞令交付の後、永見理事長や加藤チャプレンからIGLの理念「隣人愛」の大切さを説くメッセージが送られ、緊張感と温かい笑顔に包まれながら無事に式が終了しました。入職式の後には、法人内の先輩職員が講師となって新任研修を行います。法人の理念や組織について、介護の基礎知識等を学んだ後にいよいよそれぞれの現場に配属です。

これからIGLグループの一員として、一緒に頑張っていきます。



理事長から辞令を受け、正式にIGLの職員になりました。



IGL医療福祉専門学校介護福祉学科を卒業した中国人留学生。



理事長から心こもったメッセージをいただきました。



期待の新卒の皆さんを温かく迎え入れようと、経営陣や先輩社員が集まりました。



仲間と共に成長していきましょう!

エールを送る!

IGLで働くひと Interview

愛と理解 IGLで学んだ子どもへの視点

いわと みずほ  
保育教諭・正職員 **岩戸 瑞穂さん**  
2011年入職 サムエル信愛こどもの園で勤務。



お仕事の内容を教えてください

現在は2歳児(3号認定)のへやのリーダーとして正職で働いています。

日頃から大切にしていることはありますか

子どもを中心に保育を考えることを心がけています。遊具、おへやの環境、一日の流れ、保育者の動きなど、保育の全ての場面で子どもたちが楽しく、心地よく過ごせる環境になっているかを考えるようにしています。自分一人では答えが見つからないときは、同僚と話すことで課題に対する答えを見つけられることがとても多いです。みんなと子どもたちのためにより良い保育を考えていくことはとても楽しいです。

IGLで働いてどんなことを学びましたか

子どもの視点に立って考えることの大切さを学ぶことができました。若手の頃、保育について考える場面で先輩の先生方が「子どもはこのことをどんな風に感じるだろうね?」と投げかけてくれ、子どもの視点に立って考えることを促してくれました。先輩方はIGLの理念の隣人愛のように、自分のことだけでなく、私のことも大切に思っていて関わってくださっていたのだと思います。

普段接している職員の皆さんへメッセージをお願いします

職場では、どんなことでも親身になって聞いてくれるたくさんの愛のある同僚に囲まれており、本当に感謝しています。あたたかい皆さんのように自分もそのような人になりたいと自分を磨き、高めていきたいと思っています。



後輩(同僚)からのエール!

どんな時でも私たち職員と向き合ってくれる先輩です。悩んでいるときはヒントをくれ、自分で答えを導き出せるよう見守ってくれます。私の考えも尊重してくれるので自分らしく一歩ずつ成長できているのは先輩のご指導のおかげです。(同僚: 渡邊 日和さん)



卒園生からのエール!

自由に全力で遊ぶ しっかり生きていく土台に

サムエル東広島こどもの園  
2002年卒園  
すずむら みか  
**鈴村 美香さん**  
税理士事務所勤務



サムエルでの日々は、とても楽しく、のびのびしたものでした。たくさんの思い出がありますが、友達と園庭で泥団子をツルツルに磨き上げた日々が私にとっては一番の思い出です。サラサラの粉がある場所を見つけては磨き、ツルツルにしていく。自分のやりたいことに全力で取り組み、工夫して、やってみる。そんな伸びやかに過ごした日々が今の自分の土台となっています。

今後もサムエルでたくさんの子供たちが心も体も伸びやかに成長されることを祈っています。



右から3人目が当時の美香さん

乳幼児保育・教育事業 Topics 1月~4月

乳児の部屋のクリスマス



乳児の子どもたちが園で迎えるクリスマスの様子をご紹介します。  
アドベントIからお部屋で小さな礼拝の時を持ち、クリスマスまでの日々を楽しみに、温かい気持ちで過ごしています。

感触あそび



子どもたちが大好きな小麦粉粘土あそび。匂ってみたり、小さく小さくちぎって並べたり、手の平で平たくして型抜きをしたり、指先も使いながら板で粘土を切ったり…五感をフルに使いながら夢中になって楽しんでいます。

食育



こども園での生活に欠かせない給食やおやつ。調理職員と保育者が同じ思いで子どもたちの食に携わることを大切にしています。調理職員も子どもたちと関わる中で子どもたちの食への関心を高めています。

園内演奏会



楽器を身近に感じたり、生の演奏に触れることで豊かな心と感性を育てています。

動物とのふれあい



園庭に「みんなの牧場」が来ました。動物とのふれあいをする中で、小さい動物にも命があることを実感し、自然と優しい気持ちになった一日でした。

●ハンナの会(保護者会)と共に



「子どもたちが喜ぶことを」とハンナの会と園が連携を取りながら計画し、ハンナの会が主催してくださっている園行事。子どもたちに今経験してほしいことを共に考えてくださっています。

卒園を前に…

●卒園礼拝



保護者の方にもご参加いただいた教会礼拝です。心も体も大きくなったことを感謝し、讃美歌を歌ったり、お祈りを捧げました。

●お別れ遠足



“もうすぐ卒園する年長さんと楽しい時を過ごしたい”と子どもたちと一緒に企画しました。

●卒園登山



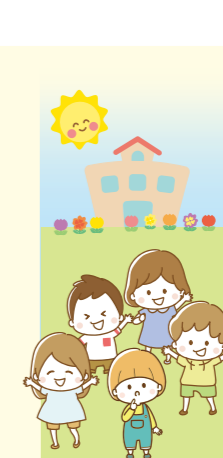
こども園と一緒に遊び、共に大きくなった大好きな友だちと、喜びや達成感を味わう経験をしました。

サムエル園長先生リレーコラム 心を育む



サムエル未来こどもの園 **川本 泰子園長**

誕生日をお祝いする時、大勢の前で名前と何歳か自分で紹介する時間があります。特に年少さんにとってはドキドキする時間で、声にすることもできずに下を向いたまま立っているのも精いっぱい。そんな子どもたちを見つめる同じ部屋のお兄さんお姉さんは、両手を胸の前で重ね“頑張れー頑張れー”と祈るように、まるでわが子を見守る母親のような優しいまなざしで見つめています。私はそんな子どもたちのまなざしが大好きです。子どもたちから教わることもたくさんあります。子どもたちのように心を柔らかくして今日も一日が始まります。



園児募集について

サムエル各園に入園をご希望される方は各園のホームページよりお問い合わせください。



こども園 総合TOP

エールを送る!

IGLで働くひと Interview

学生が自信を持って羽ばたくため  
学びと成長を支える

もり あずみ  
教員 森 安曇さん

2010年 入職 IGL医療福祉専門学校歯科衛生学科の専任教員として勤務。  
2024年 同学科長に就任。



お仕事の内容を教えてください

現在は、歯科衛生学科の学科長で1年生の担任をしています。担当科目は、歯科理工学や歯科診療補助、歯科診療補助実技実習などです。

日頃から大切にしていることはありますか

教員の仕事は「裏方」だと思っています。学生達がプロとして輝いていくために、どうすればよいか、何が必要かを常に考えています。人にはそれぞれ個性がありますが、個人の個性を踏まえつつ、プロとしての個性を伸ばし、育むことを大切にしています。入学時には、自己肯定感の低い学生も多くいますので、その学生たちが卒業後、キラキラ輝きながら仕事をしている姿を見ると、やりがいを感じるとともに本当にうれしく思います。

IGLで働いてどんなことを学びましたか

「あきらめないこと」です。学生たちは子どもから大人に成長する微妙な年齢であり、頭でわかっていても行動が伴わないことが多くあります。学生の話に耳を傾け、時には不条理と思うことも受け入れる。学生が自ら行動変容するためには、私たち教員はあきらめないこと。あきらめない限り、どこかに打開策があると思います。ネガティブになるのではなく、「次はこんなことをしてみよう」とチャレンジし、楽しむことも働きながら学んだことです。

普段接している職員の皆さんへメッセージをお願いします

周りの皆さんには感謝しかありません。歯科衛生学科は専任教員が少なく、仕事をこなしていくのは大変ですが、チームワーク良く、笑顔で楽しく仕事が出来たらよいと思います。これからもよろしくお願いいたします。



同僚からのエール!

「学生のためにどうするのが一番いいのか」をいつも考えていて、時には厳しく時には優しく学生指導をされる姿は私たち教員の見本になっています。そしてどんなときも大変さを見せないパワフルな森先生にいつも助けられています。(同僚：歯科衛生学科主任教員 末永由美さん)



卒業生からのエール!

IGLでの学びが  
自信につながった

鍼灸学科  
2016年3月卒業  
かねまる ゆい  
金丸 由依さん  
Yori鍼灸院  
オーナー・鍼灸師



高校生の頃からクラシックバレエを習っており、しなやかな動きには、筋力と柔軟性が両方必要ということを知り、身体の内側から健康できれいになれる鍼灸に興味を持ちました。

IGLのオープンキャンパスに参加し、先生方がすごく丁寧で、合格率も高く安心して学べると思ったので、進学を決めました。入学後は、先生方が一人一人の学生に向き合い、疑問に感じることも一緒に考えてくださいました。また、先生方の経験談や授業で教えていただいた治療の応用、様々な勉強会に足を運んだことが、今の臨床でも生きています。

現在は、鍼灸院を開業し、健康美に特化した施術を主に行っております。これからも経験を積んで、患者様に、より良い施術をご提供したいと思っています。また、女性鍼灸師がもっと活躍できる取り組みもしていきたいです。

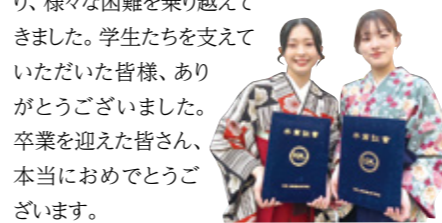


専門学校事業 Topics 1月~4月

PICK UP! 卒業式

3月15日、2023年度卒業式が執り行われ、スーツや袴、民族衣装を身にまとった、230名の学生たちが卒業の時を迎えました。

コロナ禍に始まった学生生活でしたが、学生たちはクラスメイトやご家族の協力もあり、様々な困難を乗り越えてきました。学生たちを支えていただいた皆様、ありがとうございました。卒業を迎えた皆さん、本当におめでとうございませう。



PICK UP! 入学式

2024年4月5日、桜が満開を迎えるこの日に入学式が行われ、真新しいスーツを身にまとった230名の学生が本校へ入学しました。始めは緊張した面持ちでしたが、式が終わるころにはクラスメイトと談笑する姿もあり、これから共に夢に向かう仲間との絆を少しずつ築いている様子です。

改めて、学生の皆さん、保護者の皆様、ご入学おめでとうございます。

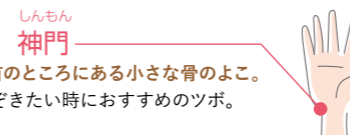


かんたんセルフケア

効果的なツボを知ろう 鍼灸学科長 南 一成先生

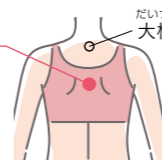
心の疲れ (ストレスによる)

手のひらの小指側の手首のところにある小さな骨のよこ。不安やイライラをとりのぞきたい時におすすめのツボ。



足の内くるぶしの頂点から真下に指幅2本下。「気」の流れをよくするツボ。足の冷えによっておこるさまざまなお悩みも。

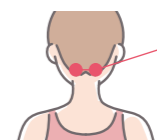
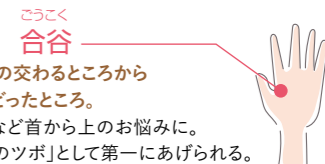
頭を前に倒した時、首すじの後ろにとび出す骨「大椎」から背骨を3コ下ったところ。精神的なストレスを緩和するツボ。



鼻水・鼻づまり

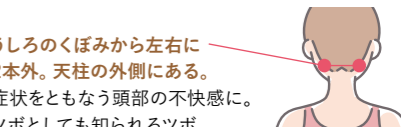
(花粉症のトラブルなど)

手の人さし指と親指の骨の交わるころから人さし指の先へ指1本もどったところ。くしゃみや鼻づまり頭痛など首から上のお悩みに。また、ストレスなど「万能のツボ」として第一にあげられる。



首のうしろの2本の太い筋肉の左右の外側。髪の毛の生え際のあたり。頭痛、肩こり、首コリをはじめ、首から上の改善におすすめのツボ。

首のうしろのくぼみから左右に指幅2本外。天柱の外側にある。鼻の症状をともなう頭部の不快感に。風のツボとしても知られるツボ。



IGLの 国家資格者養成 2大特色

オープンキャンパスの詳細、進学情報はホームページから



オープンキャンパス情報



ホームページ

1. 実技・実習にしっかり取り組む

授業内で確かな技術を習得、加えて月曜日を自由に使えるフリーマンデー制度を活用し、自主参加型の勉強会・実技講習会で実力アップ!

2. 豊富な実習先と連携。

医療福祉4学科の就職率は毎年100%! 専門学校の情報はIGL YouTube CHANNELでご確認ください!



エールを送る!

IGLで働くひと Interview

共に歩み、共に生きる 経験と学びを活かせる職場

やまさき めぐみ

介護支援専門員・正職員 山崎 恵さん

1999年入職 介護老人福祉施設 IGL ナーシングホーム シャレー に勤務。



お仕事の内容を教えてください

現在は介護老人福祉施設 IGL ナーシングホーム シャレー の介護支援専門員をしています。

日頃から大切にしていることはありますか

施設の行動指針である『目くばり・気くばり・思いやり』の中で、私は日頃から入居者の方々と話しやすい環境づくりを意識しています。困り事や相談等で話を聞く時に、面接的にならないよう正面には座らず、隣や斜め前に座る様にしています。また、ご自分の言葉で伝える事が難しい方は、ご家族の想いをケアに繋げる為に、ご家族の声をしっかり聞くよう心がけています。

IGLで働いてどんなことを学びましたか

介護支援専門員として、入居者皆様の生活が日々豊かになるようチームケアに取り組んでいます。介護職員をはじめ多職種が専門分野の知識を生かし、足りない部分を補いながら一丸となってケアを行う事がチームケアと考えています。その為、日々の色々な場面でカンファレンスを行う事が多いです。参加した一人一人が考えを持ち、意見交換や情報共有ができていく今の職場の雰囲気や、信頼関係をこれからも大切にしていきたいと思っています。

普段接している皆さんへメッセージをお願いします

これから暖かい季節になります。外出行事の際は運転や散歩など、楽しく、そして季節を感じてもらえるよう一緒に参加をしていきたいと思っています。



同僚からのエール!

「あたたかくて優しい上司」です。会話をする表情や言葉からいつも思いやりを感じ、誰にでも変わらないその姿を尊敬します。入居者様からの信頼があつく、近くで一緒に仕事していつも学ばせてもらっています。(迫川 圭琴さん)



活躍するあなたへエール!

今回は、在宅医療を支える職員をご紹介します。

IGL訪問看護ステーション 所長・看護師 藤井 美佳さん



訪問看護師になろうと思った理由は?

今から22年前、病気や障害を持ちながらもご自宅で生き活きと過ごされる利用者さんを、一生懸命に支えておられるご家族の姿を見て、病院ではできない看護師の役割がここにはある!私も力になりたい!と、思いこの世界に飛び込みました。

訪問看護師のやりがいや魅力は?

利用者さんとの距離が近く医療者でありながら、一番身近な存在として頼りにしていただける事です。「ありがとう」と言ってくれる言葉に励まされながら、看護師としてだけでなく、人としても多くのことを学び成長できることもやりがいだと感じています。



高齢福祉事業 Topics

シャレー施設群 1月~4月

広島市安佐南区上安にある「IGLナーシングホームシャレー」は、2016年4月に開設したユニット型介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)です。

黄色の外観は、裏山の緑とマッチしており、ウグイスのさえずり、カエルの合唱、セミの声と四季折々の楽しみがあり、自然を肌で感じられる環境です。屋上からは遠く市内や緑の山々を望むことも出来ます。

併設事業所 ショートステイ、デイサービス、居宅介護支援事業所、訪問介護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、セントラルキッチン



シャレー施設群 サービス各部門 Topics



広島県の特別養護老人ホームでは、初めてのユニットリーダー研修実地研修施設となりました。(2024年度より)

開設から6年を迎えた2022年、「尊厳とは」「ユニットケアとは」について考えていた時、現状のケアを検証してみることにしました。方法として、実地研修施設100項目の評価チェックをしてみると、50点にも及ばないことにショックを受け、そこから挑戦が始まりました。

ユニットケアの行動指針は、「その人の立場に立って行動する」ことです。一人ひとりに寄り添い、思いを叶え、その人らしい生活を営むことが出来るよう支援する「個別ケア」の実践こそがユニットケアであり、尊厳を守るケアなのです。

ハード面では、「自分の住まい」として施設らしくない施設づくりが必要です。ご飯やみそ汁の炊けるにおい、食器のぶつかり合う音を感じられ、使い慣れた家具や大切な人との思い出に囲まれているか、自分の時間が作れる空間はあるか等、まだまだ現在でも改善と意識の改革が必要です。

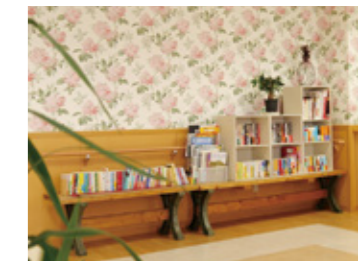
ソフト面では、職員教育の徹底。特に虐待防止、身体拘束、認知症ケア等は必須の研修です。実地研修施設では「業務」という言葉はマッチせず、一日の生活スタイルは一人ひとり異なり、個々の思いに沿ったケアを行うことは、共に生きることであり、そこに必要な当施設の行動目標である「目配りと気配りと思いやり」を持ち合わせた職員が求められています。

来訪査定の結果は74点、ぎりぎりの合格。

2026年6月より全国から実習の受入を行う予定です。他施設の職員との交流の中で、共に成長出来ることを期待しています。私たちは「隣人愛」の実践として、愛のあるケア、IGLのケアを更に成長させていきたいと全員で取り組んでいます。



「BARシャレー」がオープン! ソフトドリンクのご提供ですが、ご利用者様に好評です。



図書コーナーでは、明るくゆったりとした空間で読書を楽しむことができます。



ご利用者様のことを一番に考え、心に寄り添う介護サービスを心がけています。



快適に自分らしい日常生活を送ることができるよう、スタッフは連携し、万全の体制でケアにのぞんでいます。

訪問サービス

- IGL居宅介護支援事業所シャレー
- IGL訪問サービス上安24
- IGLヘルパーステーションシャレー

ヘルパーステーションは数少ない早朝・夜間対応ができる事業所の一つです。地域の居宅介護支援事業所様からのご紹介も多くいただいております。22名のヘルパーが利用者の在宅生活を支えるために駆け回っています。



# IGLの 緊急時に備えた取り組み

安心して施設をご利用いただくために

近年、増え続けている自然災害。IGL各施設において災害時の対応をどのように行っているのか気になっている方も多いのではないのでしょうか。

IGLでは、災害時等における安心を共に支え合う、相互支援ネットワーク「広島さっそくネット」に加盟し、各施設・事業所で平時から取り組む項目を「アクションチェックリスト」としてまとめ、マニュアルに基づいたシミュレーション訓練を定期的を実施しています。

避難経路の確認や緊急時の支援体制の確認など、防災を意識して支援することを心がけています。

災害は起きないのが一番ですが、万が一が起きた時にはしっかり対応し、これからも皆さんの安全を守るよう対策していきます。



消防士の指導のもと、消火訓練を行いました。



「広島さっそくネット」マニュアル。広島県域内の助け合いができるよう日頃から職種を超えた関係づくりを進めています。



マニュアルは目に留まる場所に保管し、いつでも内容を確認できるよう努めています。



ご利用様が過ごす部屋の近くに備蓄品を保管し、災害時にはすぐに対応できるよう配慮しています。



ナーシングホームシャレーにおいては、設計段階で幅員の広いスロープを設け、ご利用様が利用するベッドを使った避難を可能にしました。

## サムエル各園も月一回、防災訓練を行います

園児の皆さんも真剣に取り組み、スムーズに素早く避難ができるようになります。また、こども園に不審者が侵入してきた時の対応訓練も行い、子どもたちの安全を第一に意識して行動しています。



先生一！  
知っておくと役に立つ情報を発信！

## 腰部脊柱管狭窄症

IGL鍼灸マッサージ治療院  
鍼灸師 山本 竜正 先生



概要

腰部脊柱管狭窄症とは、背骨内部の神経や脊髄の通り道である脊柱管が狭くなる病気です。この病気では、脊柱管が狭くなることによって内部の神経や脊髄が圧迫され、腰痛や下肢の痛みやしびれなどさまざまな症状が現れます。高齢者の10人に1人が腰部脊柱管狭窄症を患っていると考えられています。

原因

脊柱管が狭くなる原因として最も多いものは、加齢による腰椎の変形です。また、事故や先天的に脊柱管が狭いなどによっても腰部脊柱管狭窄症は引き起こされます。

症状

主な症状としては、下肢のしびれ、下肢痛、間欠性跛行(かんけつせいはいこう)などがあります。神経が通る脊柱管が狭くなると神経が圧迫され、下肢の痛みやしびれ、麻痺(脱力)が発生します。腰椎を伸展(背筋を伸ばす)すると狭窄は強くなり腰を曲げると狭窄は緩みます。そのため、まっすぐに背筋を伸ばした状態で立っているとだんだん足がしびれてくるようになります。

間欠性跛行では、歩行により徐々に足のしびれや痛みが出ますが、数分間休んだりすると症状が和らいで歩行が再度可能になります。どの程度の距離を歩くと症状が増悪するかは重症度によって異なります。重症の場合にはごく短距離を歩いただけでもしびれや痛みを感じ、日常生活が著しく制限されることもあります。

検査・診断

狭窄症による下肢のしびれがあっても、日常生活での動作で特に問題がない場合は、必ずしも直ちに治療が必要というわけではありません。症状が高度ではなく日常生活での支障があまりない場合は、薬の服用、ブロック注射、運動、ストレッチ、リハビリテーションなどの保存的療法を行います。腰回りの筋力を保つことは症状の緩和に大切です。また、検査・診断ではレントゲン写真やMRIといった画像検査が重要です。特に脊柱管の狭窄具合や脊髄の圧迫状況はMRIを用いることで詳細な評価ができ、保存的療法・手術の検討がされます。

当治療院では

腰部脊柱管狭窄症の方には、腰部にあるツボである腎俞穴、気海俞穴、大腸俞穴、小腸俞穴、腎部の秩辺穴、殿圧穴、膝周囲の足三里穴、裏陽陵泉穴などに施術をして腰部の血流を良くすることで症状の改善・緩和に取り組んでいます。

### IGL鍼灸マッサージ治療院

〒731-0154  
広島市安佐南区上安6丁目31-1  
TEL082-830-3420

## 教会から「愛の手紙」

### 牧師仲間発見!

広島福音教会牧師 加藤 望 先生



昨年の秋、私は高校の同窓会に出席するため、お休みをいただいて東京へ行きました。高校を卒業してすぐ、私は全寮制の神学校に進み、四国や神奈川でインターンや副牧師を務め、その後アメリカに16年も留学していましたので、ずっと音信不通扱いでした。けれども、幹事の人たちが私のプロフィールが載っているIGLのホームページを見つけて連絡してくれたのです。嬉しかったですね。卒業以来、初めての再会ですから、45年ぶりです。顔は分かるだろうか、頭も寂しくなっているだろうな...と思い巡らし、嬉しさ半分、恥ずかしさ半分といった感じで会場に行きました。

会場のレストランに着くと名札をもらいました。そうです、名札がなければお互いに誰だか分からないのです。名前を確認して、やっとかつての面影を認め、「おー、〇〇君。元気だったか」と互いに挨拶を交わしました。全部で8クラスある学年で、当日は70名ほどが集まっていました。お互いに近況を報告しましたが、同じクラスで、よく一緒に山に登っていた遊び好きの男が、なんと教育学博士で大学教授になっていたのには驚きでした。某有名航空会社国際線のパイロット、某ホテル取締役の一員の女性、俳優になっていた男性等々、皆さん色々な分野で活躍していて誇らしかったですね。

そんな中、同じクラスの面々は、私の両親が牧師をしていた教会のクリスマスやイベントに参加した時の思い出を話してくれました。すると「他のクラスにも牧師がいるよ」と教えてくれる人が...。「えっ、そうなの」とびっくりしてその人のところに行ってみると、「君も牧師なの!」とお互いに素頓狂な声を上げてしまいました。彼は東京の歴史ある教会の牧師になっていたのです。高校時代は「隠れキリスタンだった」とか。そこに一人の女性が近づいてきて、「加藤君、元気になってよかった。祈っていましたよ」と挨拶してくれました。なんとその女性も牧師で、幼稚園の園長をしているのです!

何ということでしょう。普通の都立高校の同学年から牧師が3人も生まれていたのです!キリスト教人口1%未満の日本で、牧師人口など0.1%未満でしょう。仲間内では「絶滅危惧種だね」と自虐的に言うくらいです。それなのに、同じ高校の卒業生に3人も牧師がいたとは!神さまは、高校の同窓会で望外の喜びとサプライズを用意しておられました。懐かしい級友に会うことだけを期待していた私に、牧師仲間、それも二人の牧師仲間に出会ってくださったのですから。本当に「神のなさることは皆その時にかなって美しい」のです(伝道の書3章11節)。



IGLグループは約60の事業所を展開しています。毎号、各施設からのお便りをお届けします！

## 施設だより

vol.3

学校法人IGL学園

認定こども園

### サムエル薬師が丘こどもの園



住所 〒731-5154  
広島市佐伯区薬師が丘2-10-1

電話 (082) 928-1414 代表  
(082) 928-0404

開設 1980年4月1日

職員数 40名

定員 170名  
(1号:50名、2・3号:120名)

※2024年4月現在



本園は、広島市の西の高台、瀬戸内海を望む薬師が丘団地の中程にあり、広島市植物公園に隣接しています。

幹線道路を離れ、緑豊かな地で、子どもたちは、おいしい空気と神様の愛に包まれて、一人ひとりが輝いて、命いっぱい遊んでいます。



保護者会活動の協力も盛んで、子どもたちには「ふれあい動物園」や「マジックショー」など楽しい催しをしていただきました。また、お母さん方の講座を開いて学び合い、子育ての参考にされています。園も「ミモザの会」「こひつじの会」「手話の会」などの子育て支援の会が充実し、保護者が集い、子育ての悩みや経験談を語り合い輪が広がっています。

#### ひとこと

保育者として保護者としてサムエルに関わり、子どもたち、保護者、職員皆さんに育てていただいた私です。週1回のホットヨガ、月1回のフラワーアレンジメントで心と身体を整え、職務に向かっています。



内村 美奈子 園長

広島市植物公園に近く、春や秋には親子で親睦を兼ね遠足をしたり、散歩に行くなど自然の多い環境の下で生活をしています。園庭にある柿、さくらんぼ、みかん、八朔の豊かな実りを子どもたちと共に味わい、良い経験となっています。今年度は平和学習時に平和公園から頂いたアオギリの苗を植樹し、植物の生長を祈りながら青葉が茂る時を子どもたちと楽しみに待っています。



## LOVE注入♡レシピ



忙しいママパパや、お料理が億劫になりがちなシニアの皆さんへ季節のレシピをご紹介します。



### 「端午の節句」に作りたい 中華ちまき

端午の節句は五節供の一つで、男の子の節供です。この日は、家々に鯉のぼりをたて、ちまきや柏餅などを食べて祝います。端午は中国伝来のもので、「端」は初めの意味で、もとは月の最初の午(うま)の日の行事でした。

のちに、「午(ご)」は「五」と音(おん)が同じで、中国の漢時代以降に5月5日を端午というようになりました。よもぎやしょうぶを邪気祓いに用いることやちまきを食べる風習は、日本に平安時代に伝わりました。

#### 材料 こども1人分

- もち米…………… 60g
- 生姜…………… 1g
- 茹でたけのこ…………… 5g
- 干しいたけ…………… 5g
- 豚ミンチ…………… 10g
- 戻し汁…………… 30g
- しょうゆ…………… 3g
- 三温糖…………… 1g
- 塩…………… 0.2g
- ごま油…………… 1g

#### 作り方

- 1 もち米は洗って、ざるにあけておく。
- 2 しょうが、茹でたけのこ、干しいたけは戻し、みじんに切り、戻し汁はとっておく。
- 3 油で豚ミンチを炒め、2と1も加えて炒め、干しいたけの戻し汁を加え、しょうゆ、三温糖、塩を加え焦がさないように加熱する。
- 4 3に汁がなくなったら、ごま油を加える。
- 5 4をアルミホイルに包んで蒸す。



## スタッフを募集しています

私たちとIGLで働きませんか。詳しくは採用ホームページをご覧ください。



- 保育教諭 ●保育士 ●正看護師 ●准看護師
- 歯科衛生士 ●ケアスタッフ(介護職)
- ケアマネジャー ●相談員 ●歯科事務員
- 送迎ドライバー ●キッチンスタッフ など



[本部] 〒731-0154 広島県広島市安佐南区上安6丁目31-1 <https://www.igl.or.jp/>



「愛をもって人生にエールをおくる」をキャッチフレーズに、乳幼児から高齢者まで、すべての人が生ある喜びを分かち合える理想郷づくりを目指す私たち。教育・福祉・医療・健康を通じて、多くの人の人生にエールを届けたい。利用する人、生活する人、働く人、関わる人すべてが気持ちよく明るい希望を持って過ごせる環境を作っていく。環境が人をつくる、しかし最大の環境は人である」という考えから、誰もが活き活きと「隣人愛」の心を実践し、温かい環境が生まれることこそが、理想の「もてなし」だと考えています。